

令和5年度岡山県図書館協会総会議事録

日時：令和5年6月12日（月）

10:30～12:00

場所：岡山県立図書館 2階多目的ホール

出席 個人 21 施設会員 14

委任状 個人 217 施設会員 55

1 開 会

- ・定数確認 出席者と委任状が定員の半数以上のため会は成立。
- ・大西会長あいさつ。

2 議長選出

- ・大西会長が議長に選出。

3 協議

(1) 令和5・6年度役員を選出 [資料①]

- ・資料に従って事務局から説明。

承認

(2) 令和4年度事業報告・収支決算報告・監査報告 [資料②③④]

- ・資料に従って事務局から説明。
- ・津山市立図書館長 菊入監事が監査報告。

承認

質問：資料③、収入の部、当初予算額より決算額が低い場合は過不足のところに△（デルタマーク）がついているが、支出の部の場合にはそういう状況であっても△（デルタマーク）はない。これはどう理解すればよいか。

回答：予算額に対する決算額について、収入の部は、当初予算額に対して決算額は8,000円不足しているため△を表記している。支出の部については、不足ではなく、残額として残っているので、プラスの意味で表記はしていない。

(3) 令和5年度事業計画（案）・収支予算（案） [資料⑤⑥]

- ・資料に従って事務局から説明。

承認

質問：研修会の講師（㈱JVC ケンウッドの榎本氏、法政大学の坂本氏）とはどんな方なのか、もう少し具体的に教えてほしい。

回答：今、手元に講師に関する詳しい資料がない。企画委員も欠席のため、本日のところは詳しい説明ができない。

鳥越：昨年企画に関わっていた立場から。教養講座「図書館のレイアウト・居心地の良い図書館とは（R5.11.10開催予定）」は、大学図書館からの要望があったものである。ビクターの榎本氏は図書館内でBGMを流す、柳川氏はアロマで館内に香りを置くという、音と香りで図書館の居心地を良さを考えていくという発表があった。それを聴いてみたいという要望を受けたものである。

久戸瀬：「デジタルシティズンシップと図書館」の坂本氏の講演を聴講した立場から。デジタルシティズンシップとは、インターネットは危険ということだけではなく、インターネットを良い相手として使えるようにしていこうという考え方である。欧米では進んでいるが、今後は日本でも取り入れていこうとしている研究会があり、その中心的な立場にあるのが坂本氏である。

質問：研修の参加助成について、資料に掲載の①～⑤の研修会以外にも、研究団体の研修会等に参加したい場合、助成の対象になるのかどうか、詳細を教えてください。

回答：研修の参加助成については、現段階では資料掲載のもののみであるが、何かよい提案があれば参考にしたいと思う。今後、検討させてもらいたい。

質問：様々な研修会、講習会がある。実績として参加人数が少ないので、研修参加助成金については、間口を広げれば使いやすい助成金になるのではと思う。例えば年に何人までなら、学術研究団体の研修会に参加できるというような枠を示してはどうか。資料には「等」となっているし、その他の研修会の申込みにも対応してはどうか。

回答：協会としては、幅広い人に参加してもらいたい、予算もある。

会長：今後に向けては、有効に活用した方がいいと思うので、事務局、役員会等でしっかり検討していきたい。

質問：今年4月に（公財）日本図書館協会から、いわゆる読書バリアフリー計画の策定を市町村でもしていきましょうという指針が示された。策定に当たっては、各自治体に合わせた内容をとのことであるが、電子書籍の導入や視覚障がい者の方以外へのわかり易い表示など、読書バリアフリーの観点を講座内容に含めてほしい。

また、一般の方が参加しづらい内容が多いように思う。公共図書館職員もなかなか研究等に手が回っておらず、助成金の申請や研修会への参加に至っていない現状がある。1テーマぐらいは、実演やイベントなどいろんな人が参加できる環境を整えてほしい。繰越金が増加しているようなので、効果的に使ってほしい。（要望）

意見：一会員の立場で。研究、研修に役立つ事業ということであれば、会員が自主的にセッティングした研修会等で会の趣旨にマッチしていれば助成するというやり方もあるのでは。県図協の事業としていいような会があれば助成するという事も検討していただきたい。

回答：今、研究奨励金交付の申請を募集している。これが今言われたことの対象になると思われる。

質問：研究奨励金というのは、書物とか論文とか研究的なものだけでなく、イベント的な研修会等でも助成されるのか。

回答：単純にイベント等だけでは対象外だが、そこに研究的な要素も含めた発表の場の企画であればよいと思う。

(4) その他

質問：デジタル送信について著作権の補償金のことが新聞記事にあったが、県立図書館で何か情報があれば教えてほしい。

回答：先日ガイドラインが周知をされたところであるが、今のところ、それに則って実施している館はないという認識である。まだ課題が多く、そこをクリアしてからになるため、当館及び県内図書館でも未定である。

質問：施行されたのか。

回答：6月1日に施行されている。

5 その他

(1) 企画委員の改選について [資料⑦]

- ・資料に沿って事務局から説明。

6 閉会